



議会だより



平成29年度
秋季消防演習

- 9月定例会議 2ページ
- 一般質問 5名登壇 5ページ
- 村民の声 **佐藤隆平さん** 10ページ
 「古民家カフェ経営から学んだこと」



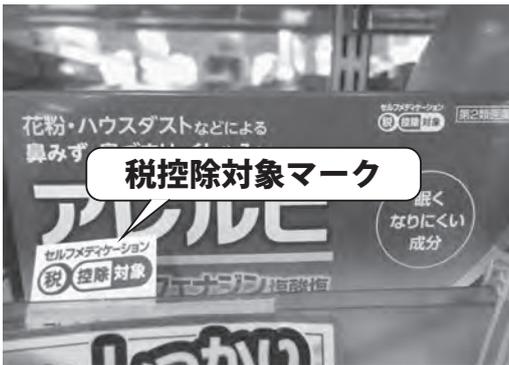
議会ホームページもご覧ください。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 近 良平
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

セルフメディケーション税制 住民税にも

そうだ 薬局へ行こう

9月（第4回）定例会議



平成29年9月定例会議が9月7日から19日まで13日間の日程で開催されました。提案された議案は報告1件、決算認定2件、条例の一部改正2件、補正予算4件、

教育委員の任命同意1件で、いずれも原案どおり認定、可決、同意されました。陳情3件が採択、意見書5件が可決され関係機関に送付されました。

特定市販薬も総所得から控除

自主服薬を進めるために市販薬についても住民税が控除できるようになります。平成29年1月1日から平成33年12月31日までに買った薬でセルフメディケーション控除対象のマークが入った薬品に限られます。1万2000円を超えて8万8000円までです。申告者は健康診断を受けているか予防接種を受けている証明が必要です。現行の医療費控除との併用はできません。世帯に複数の申告者が居る場合一方がセルフメディケーションでもう一方が現行の医療費控除という選択は可能とのこと。大手チェーンのドラッグストアでは

レシートにマークが出て対象外の薬品と区別する事が出来ます。紹介のポスターを掲示したり対象薬品の棚にポップを付けたりして紹介していますが、今まで問い合わせは1件とのこと。せきかわ調剤薬局では別の領収書を書いてくれます。風邪薬、花粉症の薬、胃薬、頭痛薬等ありますので、いつもの症状で医療機関に行く場合にもお勧めです。なお組合等の配置薬にも対象商品はあります。マークを確認してみてください。

一般会計補正予算

新採用の運転員の給与および情報セキュリティ関係の業務委託への増額です。

可決された意見書

■道路財法による補助率かさ上げ措置に関する意見書

報告

平成28年度健全化判断比率については実質赤字比率と連結実質赤字比率とも該当せず実質公債費比率は8・4パーセント将来負担比率は32・4パーセント。各特別会計の資金不足比率は資金不足がなく国の基準以下となっております。正や改善をすべき事項はありませんでした。

■森林環境税(仮称)創設に関する意見書

■全国森林環境税の創設に関する意見書

■学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書(国)

■学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書(県)

平成28年度

決算審査特別委員会 Q&A

平成28年度関川村各会計の決算は決算審査特別委員会に付託され、第1分科会と第2分科会に分かれて審査されました。
各分科会における主な質疑の内容を報告します。

村民税

Q、法人村民税額が落ち込んでいるがどのような状況か？

A、大手企業の経営状況に大きく左右され、平成28年度は1社が前年比600万円ほどの減額となりました。

民生費 児童福祉費

Q、保育園では未満児や手のかかる子が多いと聞いているが、保育士の数は足りているか？

A、保育に配慮が必要な子が年々多くなり、その子どもに付きつきりとなる場合もあり、基準よりかなり多い職員が配置されています。

教育費

Q、せきかわふれあいど〜むのトレーニングルームの利用状況は？

A、登録者数は600人を超え、村民の健康づくりに大変役立っています。



ふれあいど〜むのトレーニング機器

介護保険事業について

Q、元気ハツラツ事業とは？

A、介護認定を受けていない人を支援する介護予防事業です。
高齢者の居場所や交流の場としての活動や運動などを支援しています。

商工労働費

Q、プレミアム商品券について、昨年からはガキ抽選方式に変更したが反響はどうか？

A、また、追加販売の時は抽選で購入した人は買うことはできないのか？

A、特に悪い影響はありません。

ハガキで売り切れなかった場合は追加販売として先着順にしており、抽選で購入した方も購入可能です。

公共下水道事業特別会計について

Q、下水道事業業務継続計画とは？

A、地震などの災害時に、どんな危険があり、どのように下水道を継続していくかという計画です。



分科会での慎重審査（第2分科会）

一般質問



高橋忠夫 議員

- ・ 木質バイオマス発電事業の進展は
- ・ 下関保育園のグラウンドの環境整備を
- ・ 日の出公園の遊具補充、環境整備を

議員
バイオマス発電事業の進展事項を伺う。

村長

事業資金を準備する米国内の相手方と、㈱パワープラント関川が情報のやりとりをしながら、早期の送金実行に鋭意取り組んでおり、その第一回目の送金が間もなく行われるとの情報です。具体的な動きがあり次第、議会にも報告したいと思っています。

議員

設置以来、10年以上経過をしている下関保育園のグラウンドについてであるが、先生、職員、父兄、祖父母の皆さんで年2〜3回ほど草取りをして、環境整備をしているのが実態であると言っても過言ではないと思う。

以前、私も孫二人が7年間ほど入園していたので承知をしている。

先生、職員の皆さん方の真夏の午後、炎天下での草

取りを毎日のように見て来ており、大変な作業で心配をしていたところである。

議員

数年前からクローバー等も生い茂り牧草地化している。草刈機の使用も余儀なくされている現状でもある。また、私を含めて何人かの人がへびを見ており、大変危険である。

以上、このようなことを踏まえての環境整備、例えば土の入れ替え、排水設備の改修等を含めて、実施できないか伺う。

村長

指摘のグラウンド整備工事、土の入れ替え、排水の整備などですが、下関保育園のグラウンドは平成18年度に整備工事を施工した際、10メートル間隔で暗渠排水管を敷設し、その上、中学校のグラウンドでも使用している真砂土を表土にして敷いています。10年を経過し、草の根っこが張っていることや、当初の排水機能が劣化している可能性があります。現在のところ

使用に支障がないと思っっています。

建設環境課長

今後、グラウンドの状況を見ながら財政とも相談し、対処しなければならぬと考えています。

議員

下関集落の日の出公園の周りには、多くの若い世代が入居している村営住宅が多く存在し、子供の数も多いことも承知をしていると思う。最近滑り台がなくなつたとか、遊具が少なく遊びたくても遊べない等の苦情を聞いている。遊具の補充、環境整備を実施出来ないか伺う。

村長

日の出公園の施設整備については、下関集落からの要望もあるので、今後地元の見解を聴きながら、財政状況をみて遊具の補充など環境整備に努めていきたいと考えています。

議員

公園予定地の4分の1を代替地に充てたため狭くなっているのが現状であると理解している。所有者が早急な予定がないのであれば借地をしてでも本来の広さの姿に出来ないのか。

村長

ただいまの指摘、状況をみながら対処させて頂きます。



環境整備が望まれる日の出公園（下関）

一般質問



小澤 仁 議員

〔過去にとりあげたテーマの追跡質問〕

- ① 温泉街の環境向上
- ② 村営畜産団地の今後の運営
- ③ わかぶな高原スキー場用地の貸借契約
- ④ 9月末に迎える(株)パワープラント関川への貸付期限までに返済がなかった場合、その後の対応



温泉街での危険性の高い建物の強制代執行

村長 倒壊の危険性の高い建物は、3月に代執行により除去しました。

温泉街の環境整備は行政の取り組みだけでは不十分で観光交流会の際にも関係の皆さんに協力をお願いしたところです。

議員 以前に取り上げた4つの事案について伺う。

① 温泉街の環境向上について

議員 ② 村営畜産団地の今後の運営について

村長 臭気対策では、先進事例として、埼玉にある養豚業社の農場を松平集落関係者議会の皆様そして村から副村長、課長、担当者が同行し視察をして来ました。

また、一方で臭気対策の実証実験をしています。

団地の今後についてですが、現在の臭気や汚水などの環境問題を改善することが重要だと考えています。

環境対策をしっかりと行って集落、畜主、行政この三者の信頼関係を今まで以上に高まるように努めていくことが重要だと考えています。

議員 ③ わかぶな高原スキー場用地の貸借契約について

村長 わかぶな高原スキー場の用地契約の経過ですが。前回の契約が6月13日で満了しました。

残念ながら現在も全員の合意には至っていません。

シーズン前の準備を前に大変苦慮しているところです。

交渉の過程で補正予算が必要な場合は早々にも本会議の開会をお願いしたいと思っています。



わかぶな高原スキー場

議員 ④ 9月末に迎える(株)パワープラント関川への貸付期限までに返済がなかった場合の、その後の対応について

村長 木質バイオマス発電の事業主体である(株)パワープラント関川への村の貸付金の返済期限が9月末日となっている件ですが、直近の情報では米国からの入金が9月中に可能と見込まれ、またそれが確実に実施されると判断できるだけの書類が届いているようです。

質問は、資金調達されずに9月末を迎えた場合を指すと思いますが、返済可能と見込まれること、また現在対応している住民訴訟の内容にも関連することであり、答弁を控えさせていただきます。

一般質問



鈴木万寿夫 議員

・木質バイオマス発電事業 実現は不可能ではないのか

議員

バイオマス発電事業の実現が不可能と思える現状と改正FIT法の趣旨も踏まえて、次の点について質問する。

米国エンジンメーカーが資金を準備し、送金することとで(株)パワープラント関川と合意して覚書を交わしたということだが、送金期日はいつまでになっているのか。

村長

平成27年11月18日に永井社長が渡米した際に相手のファイナンス側と(株)パワープラント関川に関する覚書を交わしております。このときには事業費全体の上限が5000万ドルで、その1割を12月中に前渡金として支払うという内容でした。

議員

覚書を交わしたのに期日までに入金がないということとは契約違反ではないのか。

総務課参事

覚書に期日が明記されていますので、それに違反したことになりますが、その都度、社長が渡米するなどして契約書を何度か更新するという形で進めています。

議員

東北電力との接続契約に関する入札には参加できなかった。それでもまだ契約の可能性が無くなったわけではないとのことと契約に向けて折衝を続けていくとのことであったが、現状と見通しはどうか。

村長

現在まで折衝を続けてきた経過の中で可能性は十分にあると考えています。

議員

経済産業省へ事業計画認定申請をしても、まだ実験段階で実用化試験も終わっていない米国HSE社製エンジンの採用は不適切案件として不認可となるのではないのか。

村長

旧制度でも設備認定を受けています。これを変更するものではないことから、エンジンを理由に新制度での事業計画が認可されないとは考えていません。

議員

現在、肝心の資金の確保の見通しもなく関連法令の変更に伴う対応も整っていない状況から事業の実現は不可能と思わざるを得ない。本事業目的を達成するには結果的には遠回りをしたことになるが、一旦、原点に立ち返り、現行のやり方を全て白紙に戻して、村の現状に合ったバイオマス発電事業の実現可能性を再検討すべきではないか。

村長

今の計画を現在の時点を取りやめる考えは持っていません。今は大詰めにかけているところであり、現時点ではこれを進めていくことに営々努力していかねければと考

えています。

また、資金が入金されればかなりの部分が急速に展開できると考えています。

議員

近隣住民に対して騒音、粉塵、排熱等による環境対策について事前に説明するのが本来のやり方ではないのか。

村長

資金が入ってきて基本計画などができたら説明しなければならぬと考えています。



バイオマス発電所予定地の現状

一般質問



加藤和泰 議員

- ・道の駅の施設整備と村民の買い物対策は
- ・新規起業支援策は
- ・子育て支援策について

議員

現在、村では生鮮品を扱うスーパーが閉店し日々の買い物に不便を感じている村民が多い。

そこで提案するが、現在関川村で一番人の出入りが多い道の駅関川に、村内、村外両方の方に利用いただけるような商業施設を整備する考えはないか。

村長

道の駅周辺については、状況の変化に応じてこれまで何回か大規模な改修をしてきました。

また、日々の買い物に不便を感じる村民が大勢いると認識しています。

あいさい市やちぐら館は県や国の補助事業により建設した施設のため耐用年数などいくつかの問題があります。

今後も時代の変化に応じた見直しが必要と考えます。

議員

村内の商工業者数が減少している中、関川村商工会

では組織率低下に伴う職員数の減員に備え、事業改善効率化計画を検討している。職員数が減員となれば商工会自体の機能低下が心配される。

そこで、一定の基準を設け、税制面での優遇措置、創業資金の調達、希望すれば事務所の無償開放など関川村で新規に起業する事業者に対する支援策を検討出来ないか。

様々な発想をもち、起業してみたいと考えている人はいると思う。

村長

村内の事業者が減少することは、村の経済に大きな影響があると考えます。

起業につきましては、村が行っているキラリ事業を活用して商品の開発・販売に至った例もあり、今後この事業を起業のきっかけづくりとして利用いただきたいと考えます。

今後は、起業者の空き施設の利用促進と併せて商工会と連携し、どのような課

題がありニーズに合った支援がよいのか検討する必要があります。

議員

人口減少が進む中、少子化対策としての子育て支援策はとても重要な課題と考える。

現在、関川村の学童保育所の登録児童数は51名、利用料金は月額8000円であるが近隣市町村との利用料金の比較はどうか。

村長

学童保育所は、本年度当初25名程度の利用を見込みましたが、4月現在の登録者数は、倍の51名と大幅な増加となりました。

今後、利用人数の増加を考え、人員体制を整備し国・県の補助対象となるよう検討する必要があります。その際には利用料金についても検討したいと考えます。

住民福祉課長

近隣市町村の利用料金について 聖籠町が月額8000円

(おやつ代込み)

村上市が月額5000円、これとは別に保護者会費を月額2500円ほど徴収しおやつ代等に充当

胎内市が月額4000円 (おやつは出してない) 以上が近隣市町村の現状ですが今後値上げを検討している市町村もあります。

議員

今後も共働き世帯の増加に伴い、学童保育所の利用者も増加する事が想定される。例えば兄弟二人が利用する場合、二人目に対する利用料金の割引など、可能な範囲で再度利用料金の検討をお願いしたい。



あいさい市

一般質問



高橋正之議員

・黒岩頭首工から一連で つなぐ水路計画は



大石川の黒岩頭首工（金俣集落付近）

議員

昨年、大石川にある農業用施設の機能診断結果が出たが、その後、黒岩頭首工から、一連で水路をつなぐ計画の話が進んでいると聞いていますが、進行状況や詳細を伺う。

村長

大石川流域の農業用施設についての質問ですが、大石川の流域においては、羽越水害により災害復旧事業で建設した上川口・安角・黒岩・この3つの頭首工があります。既に50年近くが経過しており老朽化が進行しています。そのため昨年度、機能診断を業者に委託しました。

調査の結果では、3つの頭首工とも緊急に改修が必要であるということでした。この結果を本年6月と7月、上川口・安角の2つの水利組合の皆さんに診断内容、そして今後の計画について説明し、黒岩頭首工についても今月中に説明する予定でいます。説明する概要については、3つの頭首工それぞれの流域面積が少ないために個別に改修することには費用対効果に問題があります。そこで、3つの施設を統合して1系統に整理することが考えられます。それは物理的に可能ですが、費

議員

受益者側からは、どんな話が出ているのか。

農林観光課参事

6月に安角水利組合で説明会を開催しました。そのときの話し合いではまとまりませんでした。前向きに検討したいという意見でした。

7月に上川口水利組合で説明会を行いました。その感じとしては、上川口水利組合では、お金がかかるけれども前向きに検討したいと、そのために土地改良区にも加入する意思があるという意見でした。

黒岩頭首工の水利組合については、9月中に説明会を開催する予定です。

用対効果も乗り越えられようであり、事業費も個別に改修するよりも少し安くならということですが、そのような内容を受益者の皆さんに報告をしました。調査では統合案がいいとの結果ですが事業費が数億円と多額になることが予想されます。それを誰が負担するかが課題となっています。羽越水害の場合においては、全村での被害が極めて大きかったことから特別な計らいで受益者負担を免除したため、施設整備は村が行うものと認識している受益者もいます。しかし、このような施設は受益者が全体的に取り組む事業であり、そこを村が支援するというものであります。したがって、各水利組合においても将来を見据えて十分に協議いただき、その結果も踏まえながら村の対応を検討したいと、考えています。

村民の声

古民家カフェ経営から 学んだこと

さとうりゅうへい
佐藤隆平さん
(朴坂)



このたび本紙「村民の声」への投稿依頼がございましたが、特段の声として述べたことはありませんが、開店から5年目を迎えた「古民家カフェ」経営から学んだこと等を述べてさせていただきます。

オープンを決断した時、家族や友人からこんな知名度もない集落に誰が来るのと、希望に満ちた言葉はありませんでした。

しかし、私は当時退職後で、時間的余裕もあり、よく新潟市で開催される様々な地域おこしセミナーや、新潟大学の市民講座等に参加、そこで知り合った方々との雑談から、自然に恵まれ原風景を感じ取れる関川村だからこそカフェはヒットすると確信し実行した次第です。

お陰様で、この5年間毎年2千人以上のお客様にご来店を頂いております。(4月から11月オープン)老夫婦二人では少し忙し過ぎです。

お客様の約7割は新潟市

周辺で、最近三条・新津方面からもご来店いただいております。

「人は一時的に非日常的な環境を求め行動する」と考えるので、観光的要素のビジネスは、都市部中心にPRをしております。

PR媒体の一部を述べると、コンビニ等で発売されている各種情報誌に掲載、当店は主に「月刊にいがた」・各地域で発行しているタウン誌・フェイスブック・グーグルマップ等(殆ど無料)です。

最も信頼度の高いPRは口コミと都市部に出かけ、なるべく多くの人と交流を図り、顔の見える関係でのPRを行うことです。

絶対言えることは、「古民家カフェ元麴屋」という店名を知らなければ誰も来ないということです。

ご来店頂いている殆どのお客様は、関川村の自然環境及び農村風景の良さと村民の温もりを感じてお帰りになります。

是非、村外の方々が関川



古民家カフェ元麴屋

村に来て、この自然環境と村民の方々とのふれ合いで、「心が洗われ元気になる」と評価されたいものです。私は、関川村の経済活動を深く分析していかないで、核心には触れることが出来ませんが地域住民の自発的な活動によって、農業・観光中心に新たな就業機会を作りだすことが重要で、最初は小ビジネスでも楽しみを感じ取れることが、地域経済活性化のスタートとして考えます。

最後に、「わが村は美しく、わが村は協働の力で未来がある」この言葉を大切にしたいものです。

編集後記

8月から広報対策特別委員会が議会広報常任委員会となり、議会だよりの編集メンバーも変わりました。

8月30日に町村議会広報研修会が新潟市で開催され委員4名が参加しました。

研修テーマは「読者目線で親切的な広報誌を作るには」でした。そのような「議会だより」をお届けできるように編集者一同、力を合わせて取り組んでまいります。(鈴木)

次の議会本会議の予定

12月4日(月)

～6日(水)

議会の傍聴をお待ちしています。
※12月定例会議の開会日を変更。
一般質問は行いません。

議会広報常任委員会

- 委員長 鈴木万寿夫
- 副委員長 高橋 忠夫
- 伊藤 敏哉
- 加藤 和泰
- 近 良平
- 高橋 正之